

投資事業評価調書(新規)

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 上野 勉 ( 木戸 徹 )	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	約1.3 億円
		通常砂防事業 おだちでらたに 小立寺谷川		内用地補償費	約0.1 億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
篠山市 <small>おだち</small> 小立			18年度	18年度	20年度
事業目的			事業内容		
土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、溪岸の浸食が進んでおり土砂災害の危険性が高まっているため、えん堤工を設置して地域住民の人命、財産、(一)瀬利小田中線及び市道を保全する。			・砂防えん堤工 1基 (H = 9.0m , L = 70.0m) [負担割合 国: 1 / 2、県: 1 / 2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 安全・安心	・小立寺谷川は土石流危険渓流である。 ・溪岸の浸食が進むなど流域内も広範囲に荒廃しているが、土石流対策として整備率は低い水準にある。 ・溪流勾配は約1 / 3と急で、溪岸の侵食が激しく土石流発生の危険性は高い。 ・保全対象: 人家 = 10戸、公共施設 = (一)瀬利小田中線、市道、田畑 = 3.04ha				
地域の活性化	・砂防えん堤工事により土砂災害の危険性を軽減し、地域の生活道路であり、バス路線である(一)瀬利小田中線を保全することにより、地域間の交流に一層寄与する。				
快適性・ゆとり	・えん堤設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより、下流域の住民に安全で快適な生活空間を提供する。				
その他	・地元の土砂災害に対する認識度も高く、事業化への要望が強い。				
(2)有効性・効率性 有効性	・人命・財産(人家10戸)、地域の生活道路であり、バス路線である(一)瀬利小田中線、スクールバスが通る市道が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。				
効率性	・地元からの要望が強く、市等の協力体制が整っており、円滑な事業執行が可能である。				
(3)環境適合性	・県道等からの視認性を考慮し、化粧型枠等により周辺景観に配慮する。また、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・土石流の想定被害区域には、人家10戸、(一)瀬利小田中線及び市道がある。 ・流域状況は急峻な地形と相まって荒廃が進み、土砂流出の危険性が高く、小立地区の人命・財産等を保全するため早急な対策が必要である。				